

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
宗教学	HLA11-007	選択	1	1.2	後期 (隔週)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	B317	noboru.matsuzaki	火曜日 12 : 20 ~ 14 : 30		
授業の目的・概要	<p>1. 問い 宗教ってなんか近寄らない方がよくね? 日本の宗教人口って2億人と聞いたけどホント? 世界では今でも宗教絡みの紛争があるみたいだけどうんで?</p> <p>2. 目的</p> <p>1) 一方で、現在の若き日本人の多くは、「宗教っていらねんじゃね」「なんか危ないっぽいから近寄らないのが無難だよ」くらいに感じていよう。他方で、初詣、お盆、クリスマス、また結婚式、葬式等で、日本人ほど、諸宗教に多彩に触れる民は、他にいない。いったい日本人はどのような宗教観を持っているのだろうか? また一般に、宗教とはなんであり、今後どうなるのだろうか?</p> <p>2) 宗教は文化文明の基盤であり、教養人にとって最必須の学問である。これまで人類が最も叡智を投入してきたのもこの宗教領野である。</p> <p>3) 本科目は、受講生が国内外の諸宗教に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。特に療法士・福祉士になる人にとって、現場での宗教的な話題・感覚は不可避であり、適切に扱えなければならない。大方の受講を強く勧める。</p> <p>3. 概要</p> <p>1) 宗教の全体像、および地歴的・論理的展開、さらには現代社会が抱える宗教的諸問題について、講義する。</p> <p>2) 終盤の第6~8回には Active Learning を行う。①グループによる Power Point 発表・質疑応答、②グループでの Debate、③全員で Discussion、という三形態を用意している、お楽しみに。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	<p>1. 国内外の宗教的な話題・諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ感じ考えてみること。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point を事前に Teams に up する予定なので、予め目を通しておくこと。</p>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	宗教の全体像・歴史・論理・諸相を、基本的に説明することができる。			HSU (1)、(2)、(5)	
②	代表的な諸宗教に関し、基本的な歴史的・論理的展開を説明することができる。			HSU (1)、(5)	
③	現在における宗教上の諸問題について、様々な角度から調査・考察・発表・議論できる。			HSU (3)、(4)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	科目の Guidance。 人間 (言語+宗教)・宗教 (全体像)・自然宗教 (神話) を学ぶ。	講義	事後課題を作成し提出する。	2	
2	一神教 (概論・ユダヤ教・キリスト教・イスラム教) を学ぶ。	講義	事後課題を作成し提出する。	4	
3	インドの宗教事情 (アーリア人の侵入・バラモン教・仏教・ヒンドゥー教・イスラム教の流入・現在等) を学ぶ。	講義	事後課題を作成し提出する。	4	
4	日本の宗教事情 (神道・仏教の流入・日本教・現在等) を学ぶ。 中国の宗教事情 (自生二教・外来三教・現在) も扱う。	講義	事後課題を作成し提出する。	4	
5	これまでの小括、および近現代・未来の宗教事情を学ぶ。 Active Learning (AL) のための Guidance。	講義	事後課題を作成し提出する。	4	
6	AL1 : Group Power Point 発表・質疑応答。	発表	事後課題を作成し提出する。	4	
7	AL2 : Group Debate。	対論	事後課題を作成し提出する。	4	

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

8	AL3 : Total Discussion、まとめ。	討論・講義	事後課題を作成し提出する。	4					
試	期末 Report。								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		0	40	40	0	20	100		
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10		
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30		
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10		
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10		
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10		
	問題を発見・解決する力	0	10	10	0	0	20		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。		
	②	✓							
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①	✓	受講生による [①Power Point 作成・発表・質疑応答、 ②Debate 力、③Discussion 力] を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・発言の質量等に着目する。				Comment を付け、結果を公表する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。		
	②	✓							
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
備 考									
他 担 当 教 員	なし。								
教員の実務経験	なし。								
実践的授業の内容	なし。								
そ の 他	1. 授業は教室対面方式であるが、課題は Teams を用いて提示・回収・返却する予定である。 念のため通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。 2. 本科目は教室対面式の授業を行うので、受講生は大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合には授業への参加を認めない。 3. 授業進度等、また今後の新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。								